

# いこいの村 太田幸子

題字 梅の木寮（ユニット型）

2014年（平成26年）1月20日発行

## 第380号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害センター  
所長 柴田 浩志

編集 いこいの村編集委員会  
〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>

## ユニット内調理始めました



12月16日から、今回ユニット化された梅の木寮の各階キッチンでの調理を始めました。今までの大量調理とは違い、利用者の方々と会話し、目の前で調理の過程をみていただきながら食事提供をしています。まだ試行錯誤の段階ですが、利用者の皆さんに喜んでいただけるように、給食係一丸となって頑張ります。

総務部 給食係 小川英敏

西村隆史

新年明けましておめでとうございませう。

昨年は、ティサービスセンター等の移転、梅の木寮の改修、京都府北部の実態調査等、重要な諸事業を、多くの皆様のご協力を得て、無事に行うことができました。厚くお礼申し上げます。

さて、今年の元日は穏やかな天気に恵まれ、午前中は、おせちを持って地域の高齢者宅を訪問し、新年のごあいさつをしました。お昼は、栗の木寮の仲間にごあいさつをした後、仲間とともに給食係の職員が丹精込めて作った、おせち料理をいただきました。今年も、平和で穏やかな正月を迎えられたことに心から感謝したいと思います。「平和なくして福祉なし」わが恩師から教わった言葉です。今年一年、どうぞよろしくお願いたします。



いこいの村  
聴覚言語障害センター  
所長 柴田 浩志

利用者生の声

トイレが近くなって嬉しい。  
前は長い廊下を歩いて遠かったものね。  
トイレがいくつもあるのは良い。

明けまして  
おめでよう。  
部屋がきれい。  
1人でゆっく  
りくつろいで  
くがでんね。  
好きな絵も描  
けるよ。

新しいお風呂きれいだねえ。  
1人でゆっくりは入れるから  
うれしよ。

# 改修後の梅の木寮での生活はいかがですか？

顔なじみになった人  
たちといつも一緒に  
笑ったりして楽しい。

今はあつた料理のついで  
から。良いお湯がなくて  
ご飯の時間が楽しみになる。  
おいしうから今は全部食べる。

## 十二支の作品が完成

水曜日のデイサービス利用  
者の皆さんが、午(うま)年  
に合わせて、馬の親子が颯爽  
(さっそう)と駆ける姿を描  
かれました。



「仲の良い親子の絵にした方  
が良いんじゃないか」

と、図案段階から皆さんの意  
気込みが感じられました。

この絵飾りは、絵の具など  
で描いてあるのではなく、紙  
球のモザイク画です。材料の  
紙球は、牛乳パックの外側の  
印刷と内側の防水膜をはがし  
た紙と色画用紙とを水に浸し  
てミキサーで砕き、一粒ずつ  
指先や掌で南天の実ほどの大  
きさくに丸めて乾燥させたもの  
です。一粒ずつ丸めて貼り詰  
めるのは気の遠くなる作業で  
「この色の球、あととんだけ  
要るんやろか」

と、笑いながらも黙々と丸め  
続けて貼り詰めて…、とても  
手間がかかる作業でした。

ついに4ヶ月にもおよぶ大  
作が完成、水曜日の利用者の  
皆さんの何事にも向かう意欲  
の成せる業です。

(高齢福祉部デイサービス係

濱田義隆)

干支(えと)の絵飾りは、  
未(ひつじ)年から始め、毎  
年の干支を題材にした作品を  
作り続けてこられたものです。  
「今年の午で、ちよつと十二  
支が一巡りするなあ」「色や  
背嚢は、とじつよ」



聴こえの豆知識

「生まれ育った地域で豊かに暮らしたい」

2013年11月4日、舞鶴市聴覚言語障害者地域活動支援センター「みるの会」の10周年記念文化祭が開催されました。1200人の皆様にお越しいただきました。10年はあつという間で、振り返ってみると、たくさんの想い出が心に残っています。

社会資源の創出

1998年舞鶴地域のろう者の高齢化に向けて自分たちでできることはいないかという思いから、京都府聴覚障害者協会主催の聴覚障害者ホームヘルパー養成3級課程に舞鶴から4名が受講しました。2000年、週1回民家を利用し、ろう者中心に集い、

学習や情報交換などを行う自主的な取り組み「舞鶴火曜つるの会」が発足しました。同時期、難聴者協会の強い要望により、京都府北部で初めて言語聴覚士が配置されました。このような経過を経て、現在は地域活動支援センターになっています。

また、2012年からは聴覚障害児放課後等デイサービス「さわいら」も始まりました。ろう者や難聴者の先輩との交流を通して、聴覚障害児にとって大切な体験になるよう、今後も交流を深めていきたいと思っています。

先人の思いをつなぐ

以前と比べて、聴覚障害者の生活環境は変わってきました。ろう者の先輩方は、厳しい差別にも耐え、苦勞を重ねて運動によって、聴覚障害者福祉を発展させてこられました。

今、私たち聴覚障害者が安心して暮らせるのは、これら先人のお陰です。そのことを決して忘れてはいけません。

だからこそ当時運動されてきた方々が、高齢になっても安心して暮らせるように生活支援をしていきたいと思っています。ろう者は日常的に情報不足や自分の思いを伝えるにくい時があります。ろう者一人ひとりの生活史を尊重しながら、今後も地域で暮らす聴覚障害者が力強く生きるための支えになりたいと思います。



友人と談笑する筆者：左から2番目

(舞鶴市聴覚障害者地域活動支援センター 古高春美)



いこいの村 栗の木寮 部長 木村 公之

「家に帰るまで」

1月20日、障害者権利条約を日本も批准しました。50ある条文の中のひとつには、「障害者が、他の者と平等に、居住地を選択し、及びどこで誰と生活するかを選択する機会を有する…」と書かれています。栗の木寮には、現在40人の仲間(利用者)が暮らし

している住まいに移り、日中は栗の木寮やたからの里までバスで通っています。たからの里では、パンの仕込み作業や、焼きあがったパンの袋詰め、販売などに取り組んでいます。ある日、佐藤さんは何気なく言いました。「4時のバスで家に帰ります」と。たからの里での仕事を終えてバスに乗って家に帰るのです。

しており、入所して20年以上の月日が経っている方が半数以上おられます。施設に入所した方が、施設を出て地域での暮らしを始めるためには、様々な環境を整えていく必要があります。容易ではない現状があります。

長年の施設での暮らしの中では、そういった場面がそもそもありませんでした。日中の仕事も夜の生活も同じひとつの施設の中で完結していたからです。今、佐藤さんは自分にとっての「家」を手に入れたのだと思うと、私たち職員もうれしくなります。

そんな中、佐藤等さん(53歳は、昨秋、施設を退所して綾部市内での新たな地域生活を開始しました。故郷の大阪から栗の木寮に入所して早30年が経っていました。現在、綾部市内のNPO法人が運営

きょうざれん国会請願署名の時期がやってきました。37回目となる今回のテーマは「障害者権利条約に恥をかかせないで」。佐藤さんのように自分の暮らしの場を選択できる社会、誰もが暮らしやすい地域社会の実現を目指して、署名活動に取り組みます。皆様のご協力をお願いします。



# ありがとうございました



◆後援会 ご入会・ご継続

◆ご寄付 (1,000円以上 順不同)

今回の掲載は1月1日～1月31日受付分です。

今回の掲載は1月1日～1月31日受付分です。

吉田 保 様	綾部市上八田町 継
河野 栄子 様	舞鶴市 新
野間 松枝 様	綾部市下替地町 継
柏原 行夫 様	綾部市井倉新町 継

佐田 智 様	京都市	100,000円
宇高 俊子 様	東京都	50,000円
中嶋 冬子 様	綾部市	10,000円
夢窓幼稚園 様	京都市	20,000円
匿名 様	綾部市	みかん
滝本 善伸 様	綾部市	大根
「いこいの村・梅の木寮ユニット化改修竣工式」		
綾部市 様		5,000円
口上林地区自治会連合会 様		10,000円
京都北部いこいの村建設委員会 様		10,000円
いこいの村梅の木寮家族の会 会長 渡邊 鎮夫 様		5,000円
槻瀬 健一 様		5,000円
京都聴覚言語障害者福祉協会後援会 様		10,000円
野畑 晃 様		5,000円
法人後援会口上林地区世話人会代表 山口 潔 様		5,000円
桑迫 三男 様		10,000円
株式会社 莫設計同人 様		10,000円
小山 貞夫 様		10,000円
いこいの村栗の木寮 あゆみ会 様		5,000円
吉田 均 様		30,000円
クロスロード 様		10,000円
金下建設 株式会社 様		祝花 蘭
永井 忠之 様		10,000円

(新・新規入会・継一継続)

◆「後援会」はいこいの村で現金受付させていただいた方のみ掲載です。  
現金振込・自動引落の方は京都聴覚ニュースに掲載させていただいております。

## 【3月 在宅サービスの予定】



### ☆デイサービスの予定

散髪の日 1日, 8日, 15日, 22日, 29日  
リハビリの先生の来所日 13日, 27日

### ☆配食サービス

月～土曜日 (山家・口上林地区対象)



### ☆耳の相談日

3月20日(木)  
会場：いこいの村とくら福祉センター  
時間：午後1時～午後3時 要予約

## ☆職員募集☆ 女性が働きやすい職場です！

〈正規職員〉

- 職種：介護職員 (梅の木寮)  
募集人数：5人 勤務時間：交代勤務
- 職種：生活支援員 (栗の木寮)  
募集人数：2人 勤務時間：交代勤務
- 職種：看護職員 (看護師)  
募集人数：2人 勤務時間：交代勤務
- 職種：調理員 (梅の木寮)  
募集人数：2人 勤務時間：交代勤務

〈臨時職員〉

ホームヘルパー・調理員(デ・イ・ビス)・夜勤補助員  
募集人数：若干名

(お問い合わせ)

いこいの村 総務部 まで  
TEL：0773-46-0101  
FAX：0773-46-0610



## 第40回 耳の日記念集会 開催！！

豊かなコミュニケーションを目指し  
わたしたちの暮らしを高めよう！

日時 2014年3月2日(日)午後12時30分～午後4時  
会場 ガレリアかめおか  
(亀岡市余部町宝久保1-1)

3月3日「耳の日」を記念し、京都府内の聴覚言語障害者と、その関係者が一同に集い、聴覚言語障害者を取りまく諸問題を改めて認識し、その生活と権利の豊かな発展をめざして本集会を開催します！！

(お問い合わせ)

いこいの村聴覚言語障害センター 気付  
(京都北部いこいの村建設委員会 担当：長岡)  
TEL：0773-46-0101  
FAX：0773-46-0610



## いこいの村・たからの里 カフェわびすけ



【ランチ 平日・土日・祝日】

全日完全予約制です！！

時間 正午から午後2時

【石窯パン&ピザ販売、カフェ】

午前10時から午後1時

に営業時間を変更しております。

(水曜定休日)

## 石窯パン&ピザ作り体験 申込受付中！

場所/いこいの村 たからの里

体験料/1,500円より

くわしくはお問い合わせ下さい。



【お問い合わせ先】

いこいの村・たからの里  
綾部市睦合町前田22-1  
ご予約 TEL:(0773)21-4166  
FAX:(0773)21-4166



【掲載誤りのお詫び】

第380号4面後援会 ご入会・ご継続において、下記の間違ひがありました。

訂正するとともにお詫び申し上げます。

【4面】

誤 西俣 正比呂 様 → 正 西俣 正比古 様